

しゅうれんかい（修練会）からのメッセージ

公益財団法人豊島修練会 2018年6月7日号（通算43号）

子どもの「安全」をみんなで見守ろう！！

最近、子どもが巻き込まれる悲惨な事件・事故が多発しています。子供も、大人も、先生も、地域も、子どもの「安全」について考えましょう。そして、具体的な行動を実行しましょう。

子どもたちへ（小さなお子さんには読んであげてください）

皆さんは、学校へ行くとき、学校から帰るとき、危ない目にあったことがありますか。交通事故や不審者から自分を守りましょう。どうすればいいのでしょうか？

まず、一人では行動しないで、できるだけ友だちと一緒に登校し、下校しましょう。もし、誰かに危ない目にあわされそうになったら、近くの大人に助けを求めたり、近くの家に避難したりしましょう。大声で助けを求めたり、防犯ブザーを鳴らしましょう。もし、何かあったら、家の人や先生に知らせて、どうしたらよいか話し合しましょう。

それから、朝早くや夕方、一人では歩かないようにしましょう。



大人の皆様へ（パパ&ママ、ジジ&ババ）



子どもの「生命と安全を守る」のは、大人の責任です。家族で、「安全」について、じっくり話し合しましょう。そして、早朝や、夕方や夜間に子供一人での外出はやめるようにしましょう。できれば、通学路、子どもの遊ぶ場所などの安全を家族で確かめるようにするといいと思います。

また、家族が率先して、散歩、犬の散歩、買い物には、子どもの登校時刻、下校時刻に合わせて出かけるようにしましょう。隣近所、自治会などに提案して、散歩、犬の散歩、買い物などは、子どもの登校時刻、下校時刻に合わせてもらうようにしたらいいと思いますよ。

不審者が嫌うのは、「防犯カメラ」と「大人の目」なのです。

学校の先生がたへ

学校では、通学路の「危険マップ」を作り、子どもには指導し、保護者には学校便りや保護者会等で説明し、できれば地域の人たちに知らせるようにしましょう。

不審者情報は、毎朝、子どもから或いは保護者・地域から収集するようにし、子どもに指導し、スマホで保護者に知らせ、教職員による通学路の見守りや、場合によっては保護者の迎えを要請したり、さらに地域ボランティアの協力が得られれば地域ぐるみで巡回したり、警察官の巡回を要請したりして、「子どもの安全」を見守りましょう。

「たぶん大丈夫…」「明日…」「今度の保護者会で…」などと先送りせず、「その時」「その場」で迅速に対応することが大切です。学校が忙しいのに、このようなことを言って、申し訳ありません。



(BOKE 三宅)

★備考★[成美教育文化会館]で検索すると、「かけはし」のほか「メッセージ」「Q&A」「ほん本ブック」をはじめ「一字荘」や「至楽荘」の利用の仕方、「成美教育文化会館」の会場貸出など様々な情報が閲覧できます。ご利用ください

